

待 兼 山

大阪大学経済学部同窓会

2011年（平成23年）4月1日 第27号

ホームページ <http://www.machikaneyama.jp>



同窓会への期待

同窓会名誉会長

大阪大学大学院経済学研究科長

阿部 顕三

昨年6月に経済学部長・経済学部同窓会名誉会長に就任し、この間、名古屋待兼会や東京待兼会の会合にも出席させていただきました。同窓会の多くの方々とお話しする機会を得たことは貴重な経験でした。昔の先生方の活躍ぶりや指導方法などをお聞きし、現在の研究や教育にも生かせることが多々あると思いました。また、たくさんの同窓生の方々が様々な分野で活躍されていることを実感し、わが経済学部の大きな力を感じ取ることができました。

学内では本年も多くの学生が卒業式を迎えようとしております。本学経済学部で専門的な知識を習得するだけでなく、ゼミナールや課外活動などを通じて社会人として活躍するための素養も十分に身につけてくれたものと思います。卒業式後には経済学部60周年記念事業の一環として「卒業生を囲む会」が開催され、本年は半数以上の卒業生が参加する予定となっております。経済学部で一緒に学んできた学生たちが数多く集まり、相互の交流を深めることは

大変有意義なことと思います。

現在、我が国では環太平洋パートナーシップ協定（TPP）への参加の是非が議論されているところですが、TPPに参加するしないにかかわらず、今後ますます経済社会の国際化の動きは加速していくと考えられます。すでに国内外で活躍している卒業生の方々が沢山おられますが、これからの卒業生も世界に目を向け、異なる価値観や異文化を理解しつつ、さまざまな分野や地域で活躍していただきたいと考えております。そのためにも世代を越えて自由に情報や意見の交換ができる同窓会の場が一層有効に活用されることを期待しております。

この度、東北地方太平洋沖地震が発生し、東北地方を中心として甚大な被害が出ております。被災者の中には同窓会会員やご親族の方々も含まれているかと思っております。被災者の皆様に心からお見舞い申し上げますとともに、経済学部としても復興に向けてできる限りの支援を行いたいと思っております。

新しい年度を迎えて

経済学部同窓会 会長 犬伏 泰夫



皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

新年度をそれぞれのお立場で、新たな気持ちでお迎えのことと存じます。昨年度は、経済面では中国を始めとする新興諸国の伸長と先進各国の低迷が対照的な一年でありました。金融危機をトリガーにした景気低迷に各国は各種の刺激策で対応したものの、財政悪化が残り新たな不安の種となる一方、景気の本格浮上には至らずというのが先進各国の状況に見えます。低水準の金利と財政悪化で金融・財政政策ともに追加の打つ手が限られる中で金融緩和による余剰マネーが、食料、原油、鉱物資源などの価格の歪んだ動きを生んでいるようにも見えます。

わが国においては脱却の兆しの見えないデフレ状況、加速する少子高齢化による社会保険制度の行き詰まり、ひいては「無縁社会」などといわれる社会の荒廃など様々な課題が一層深刻なものとなる中、一向に解決の糸口さえも見えないばかりか混迷を深めるばかりの様に見受けられる一年でありました。

一方で、「これからの正義の話をしよう」(マイケル・サンデル)というハーバードの哲学授業の本がベストセラーになったり、NHKドラマ「坂の上の雲」が評判になったりというのは、人々がこのような状況から脱却の拠り所を求めていることの証しなのかも知れません。日常の生活の中で何が美しいこと正しいこととするのか、どのような行動が称賛されるべきなのかといった一人一人の行動の基準を見詰め直そうという思いの顕れなのでしょうか。

グローバル化といい、ネット社会といい、多様な文化が交錯し伝統的な価値観がゆらぐなかでの人々の迷いが見えます。

抽象化・一般化という、学問に共通の手法の中で経済学も理論を組み立ててきた側面があるのだと思

います。一方で、一旦は捨象してきた人間一人一人の行動がひと括には出来ない多様性を持ち始める中、政治的・社会的な問題と深い係わりを持つ経済のあり様を対象とする経済学の更なる進化が期待されていると思います。

私たちの経済学部は、近代経済学の発展をリードする世界的な研究機関としての名声を確立して来ました。新しい時代の諸課題への解決にますます高まる経済学への期待に応えるべく研究を極め、成果を世界に発信し続けて欲しいと願っています。

さらに今大学に求められているものは、研究の場、教育の場としての機能の向上はもとより、社会の<知>の機関としてより広い活動が期待されているのだと思います。大学の改革・発展に社会から大きな期待が寄せられる中、大阪大学では鷺田総長のリーダーシップのもと、「地域に生き、世界に伸びる」をモットーに掲げグローバルに開かれた総合大学として、また懐徳堂と適塾を源流とする伝統を生かし、社会の<知>の機関たるべしという阪大スタイルを深化させ、更なる発展に向けて着実に前進している姿は、まさに社会の期待に沿うものであり、まことに頼もしく嬉ばしく感じています。

今年は大学創立80周年の節目の年にあたるということで、様々な活動が企画されています。経済学部同窓会としても力一杯の支援をしたいと考えています。

経済学部同窓会では、文系他学部同窓会との交流など魅力ある同窓会を目指して新たな活動にも取り組んでいます。皆様におかれましても、創立80周年事業の参画、支援はもとより、今後の大学の更なる発展に寄与し、同窓会活動を活性化するためにも一層のご支援を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

東京待兼会だより

会長 八木 順之

この春、卒業して社会へ巣立つ皆様、おめでとうございます。今年は、大阪大学創立80周年の佳節であり、東京待兼会も種々の企画を考えて一層の飛躍を期しているところであり、皆様の会へのご出席などおおいに歓迎するところであります。

中東で連鎖的に旧体制打倒の動きなど世界の情勢の変化はまことに激しいものがあり、それに加えて、未曾有の東日本大震災に見舞われ、円高、株安、エネルギー及び環境問題など日本の将来が危惧される事態に直面する中での、新たな社会人として出発される皆様には、大変なご苦労であろうと推察します。しかし、不景気なときに採用された社員は将来出世するというジンクスも言われています。また、このような時代であればあるほど、待兼会という同窓会組織が、応援できる場面もあることから、物怖じせずに諸先輩に知恵を拝借されることをお奨めします。

東京待兼会は、経済学部全卒業生の半数を擁する組織です。年2回、春秋懇話会を開催、そのうちの1回はOFCの共催で行っています。また、法学部同窓会で

ある青雲会とは4年前から共催で行っていますので、講師も多士済々となりました。この数年の講師は、青木保文化庁長官（元人間科学部長）、竹中平蔵慶応大学教授、西川善文前日本郵政社長、太田弘子政策大学院大学教授、大山隆司札幌高等裁判所長官、本間正明先生、堂目卓生先生、大竹文雄先生等、その時代に相応しい先生方にご講演を頂いています。

また、東京待兼会は年4回を超えるペースでゴルフコンペを開催しており、青雲会のコンペとも交流を進めており、本年1月初打ちコンペは32名の参加で益々拡大をしています。

更には、大阪外国語大学同窓会（咲耶会）とも交流を始めました。今後、文学部、人間科学部、薬学部、医学部、歯学部などからの交流希望の声にも応えていく予定です。

最後に、皆様のご活躍、ご発展並びにご健康をお祈り申し上げます。

yoshida@jisedai-ken.com

HP:<http://www.geocities.jp/tokiomachikanekai/>

名古屋待兼会だより

名古屋待兼会は経済学部・法学部の卒業生を中心に理系学部出身の方を含め、東海3県在住の方を会員に親睦と情報交換を行っています。

11月の総会と年4回の例会を開催しており、例会では毎回20名前後が参加、会員が自らの経験や趣味をもとに話題を提供し、歓談しています。参加を希望される方は同窓会事務局までご連絡くだされば、幸いに存じます。以下に昨年度の活動内容をご報告いたします。



■10年4月17日 例会

各務正俊（S41経）さんに、「医療制度の変遷と病院現況」と題してお話いただきました。複雑な医療費の仕組みを制度の変遷も踏まえわかりやすく説明いただきました。

■10年6月19日 例会

「オカリナと歌の夕べ」と題し、平尾喜隆（S41経）さんのオカリナ演奏と柳瀬国広（S52法）さん・ルミ子さん（S52理）夫妻の歌、全員で『故郷』を合唱しました。

■11年9月18日 例会

長坂康正（S43基工）さんに、「T自動車プラスチック部品造り今昔」と題して、樹脂化対応技術と生産技術の進化について、表形式の資料でわかりやすく説明いただきました。

■11年11月13日 総会

大学院経済学研究科長の阿部顕三教授をお招きし、「母校の現況」と題して、ご講話をいただきました。28名（うち女性2名）の参加をいただき、大いに盛り上がりました。

■12年2月19日 例会

高木浩司（S55人科）さんに、「知事選、市長選、住民投票のトリプル選挙を戦って」と題して、民主党県議の立場から興味深い解説をいただきました。

期会、ゼミ会だより (順不同)

平成22年「楽営会」 (小林敏男ゼミ)

今年度も小林敏男ゼミの「楽営会」が、平成22年3月21日(日)の午後7時から「ホテルグランヴィア大阪20階 桐の間」にて、盛大に開催されました。

私はゼミ幹事として、司会進行の立場で運営に携わらせていただきましたが、多くの先輩方のお話をお伺いでき、大変勉強になった一日でした。



「待兼三四会」(昭和34年卒)

昭和34年卒(新制7期)の同期会「待兼三四会」の第28回総会が、平成22年3月24日に大阪駅前の「大阪第一ホテル」で開催されました。

当日は、恩師の藤田晴先生と川口慎一先生をはじめ22名の会員が集いました。

藤田先生からは、昨23日から日経新聞の電子化が始まったことなど新聞、雑誌等の情報伝達が迅速化されることのメリット、また税金の確定申告も電子化されて簡便になるものの高齢人口の増加により税金の電子申告のような技術の進歩についていけない人々もいることのデメリットなどの問題点を指摘されるスピーチがありました。

川口先生は、歩くことが健康の維持にとって極めて重要なことであることのご体験のお話とジメルの作品の翻訳を手掛けておられることのご紹介がありました。



新制4期(昭和31年卒)同期会 -喜寿多彩、健闘する現役経営者-

恒例の新制4期生会が、平成22年11月5日午後6時から「パノラマスカイレストラン・アサヒ」で開催され、14名が元気に参加しました。

全員が、この一年のそれぞれの活躍ぶりを自己紹介、なかでも榎部氏と丸山氏が喜寿77才を迎えても、現役の中小企業社長として、現在の経済・経営的難局に立ち向かっているとの意気盛んなスピーチが、みんなの心に響きました。

また郡司氏がプロ並みのマジックを披露して拍手喝采を浴び、なごやかで楽しい夕べとなりました。

来年も11月4日(第一金曜日)に、みんな元気に再会することを約して散会しました。



「故内海先生を偲ぶ会」

故内海洋一先生は、平成21年5月5日にご逝去(90歳)されましたが、「一洋会」(内海ゼミOB会)では平成22年4月24日に「ガーデンシティクラブ大阪」において、「故内海先生を偲ぶ会」を開催しました。

当日は故内海先生の生誕91年目にあたり、一周忌を兼ねて美江子夫人と長女の夏子様(ニューヨークで国際ジャーナリストとしてご活躍中)をお招きしました。

今回も先生を偲ぶ写真集や資料をもとに、先生のご生涯や短歌をめぐる活発な意見交換がなされ、ご遺族とともに在りし日の先生を偲びました。

「一洋会」は、昭和33年卒から58年卒まで親子程の年の差がありますが、先生を慕う会員が例年集まって世代間の交流の場となっています。



「八期会」(昭和35年卒)

去る平成22年5月11日、「大阪大学中ノ島センター」にて、「八期会」を開催しました。

参加者は22名でした。

当日は、大阪大学経済学研究科長の阿部武司教授にもご出席いただき、最近の大学の状況などについてお話いただきました。

また今回は、同期メンバーの一人で元サウジアラビア国財務顧問の天野太球磨氏にコーディネーターをお願いし、日本の経済状態についてのディスカッションを行いました。天野氏は、「失われた10年」という言葉が一般に言われているが、本当は“失われた20年だ”と数字を挙げて説明され、参加者一同改めて日本経済の危機的状況を再認識することになりました。



「宮本(匡)ゼミ会」

平成22年3月27日、江坂のサニーストンホテルにて宮本匡章ゼミの同窓会を行いました。

宮本匡章先生を金沢からお迎えして、当日は、21名の同窓生が参加しました。

今回は10数年振りの同窓会になりましたが、宮本匡章先生が喜寿を迎えられ、そのお祝いも兼ねた会合になりました。

参加者21名全員が近況報告をしたあと、当日欠席で近況をお知らせ頂いた17名の方の報告も行い、最後に近々、同窓会を開催することを約束して閉会しました。

その後、宮本匡章先生が秋の叙勲で「瑞宝中綬章」を受章され、同窓会有志32名で記念品を贈りました。



「三三会」(新制6期、昭和33年卒)

恒例の「阪大経済三三会」を、平成22年11月23日(祝)に大阪・梅田の「しゃぶしゃぶ 桂」で開催し、埼玉県からの参加者を含め、20名が出席しました。

今年も、まず藤田晴先生から俳句のお話があり、次いで参加者全員による近況報告に移りましたが、仕事の話や健康問題に始まり、家族や趣味関係等、話題は尽きず、あっという間に予定時間を過ぎ、来年11月の開催を確認して散会しました。



新制13期(昭和40年卒)同期会

恒例の13期同期会が、平成23年2月10日に「大阪大学中之島センター」で開催されました。

今年是我々13期生にとって、大阪大学入学50周年及び大方が“古希”を迎える記念すべき年ということもあり、久しぶりのメンバーも含めて昨年を上回る25名が参加しました。

各人の近況報告に加えて、ゴルフ会や甲斐氏在住の熊本県での開催の提案等もあり、楽しく、盛り上がった2時間を過ごすことができ、来年も2月10日に再会することを約して散会しました。



新幹事紹介



59 期代表幹事
清水 崇将

この度、同窓会59期代表幹事を務めさせていただくことになりました清水崇将と申します。

社会人としてのスタートが目前に迫り、今は期待と不安が入り混じった思いです。

大阪大学経済学部で過ごした4年間は、私にとってたいへん思い出深いものでした。特に、一昨年7月に同窓会の下部組織である学生部会(ECOCA)が設立され、その運営メンバーとして活動し始めてからは、それまで以上に充実した毎日を送ることができました。

私が大学生活の中で得た一番の財産は、様々な人との出会いだと思います。1回生のころから仲の良い、何でも話せる友人。ゼミで出会った尊敬できる先輩、優秀な後輩。学生部

会の活動に携わるようになってからは先生方や同窓会の先輩方とのつながりも生まれました。たくさんの人に会い、たくさんの刺激を受け、私自身大きく成長することができました。このような人とのつながりは、卒業してからも失うことなく、むしろ深めていきたいと思えるほど大切なものです。

こうして同窓会の代表幹事を任せていただいたことは、大学生活で生まれたつながりをさらに深め、また新たなつながりを生み出していく良い機会だと考えております。微力ながら同窓会のさらなる発展に何らかの形で貢献できれば幸いです。

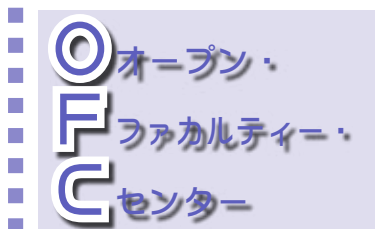
先輩方にはこれから何かとお世話になることと思いますが、よろしく願い致します。

平成22年度経済学部卒業者就職先

(順不同)

| 就職先 | 人数 | 大阪大学 | 人数 | 就職先 | 人数 | 就職先 | 人数 |
|---------------|----|----------------|----|--------------------|----|-----------------------|-----|
| (株)三井住友銀行 | 8 | (株)大林組 | 1 | 太陽生命保険(株) | 1 | 福井県庁 | 1 |
| あずさ監査法人 | 6 | 川崎重工業(株) | 1 | 大和証券(株) | 1 | 富士通(株) | 1 |
| 住友商事(株) | 4 | 川西市役所 | 1 | 大和証券キャピタル・マーケット(株) | 1 | 富士通関西中部ネットテック(株) | 1 |
| (株)三菱東京UFJ銀行 | 4 | (株)北日本新聞社 | 1 | 大和総研グループ | 1 | ポストン・コンサルティング・グループ | 1 |
| 伊藤忠商事(株) | 3 | 岐阜県庁 | 1 | 高槻市役所 | 1 | (株)北陸銀行 | 1 |
| 関西電力(株) | 3 | 近畿工業(株) | 1 | (株)但馬銀行 | 1 | 北陸電力(株) | 1 |
| (株)京都銀行 | 3 | 近畿日本鉄道(株) | 1 | デイトライト(株) | 1 | (株)毎日放送 | 1 |
| 中国電力(株) | 3 | (株)クボタ | 1 | (株)デンソー | 1 | 松岡地所(株) | 1 |
| 神戸市役所 | 2 | (株)クラフト&マイスター | 1 | 東海旅客鉄道(株) | 1 | 丸紅(株) | 1 |
| 武田薬品工業(株) | 2 | (株)クレハ | 1 | 東京海上日動火災保険(株) | 1 | ミズノ(株) | 1 |
| (株)中国銀行 | 2 | 草津市役所 | 1 | (有)ナルホ堂 | 1 | (株)三重銀行 | 1 |
| 監査法人トーマツ | 2 | コーナン商事(株) | 1 | 奈良テレビ放送(株) | 1 | 三井住友海上火災保険(株) | 1 |
| トヨタ自動車(株) | 2 | 厚生労働省・大阪労働局 | 1 | 南丹市役所 | 1 | 三菱UFJ証券(株) | 1 |
| 東京電力(株) | 2 | (株)講談社 | 1 | (株)南都銀行 | 1 | 三菱レイヨン(株) | 1 |
| 野村證券(株) | 2 | (株)神戸製鋼所 | 1 | (株)にちほシンクタンク | 1 | 三菱重工業(株) | 1 |
| (株)百五銀行 | 2 | (独)高齢障害者雇用支援機構 | 1 | 西日本電信電話(株) | 1 | 三菱樹脂(株) | 1 |
| 兵庫県庁 | 2 | 国際協力銀行 | 1 | 西日本旅客鉄道(株) | 1 | 三菱商事(株) | 1 |
| 丸紅(株) | 2 | 財務省・大阪国税局 | 1 | 西宮市役所 | 1 | 文部科学省 | 1 |
| 三菱電機(株) | 2 | 財務省・国税庁 | 1 | (株)西松屋チェーン | 1 | 山口市役所 | 1 |
| (株)DYM | 1 | (株)シテイ・コム | 1 | 日興コーディアル証券(株) | 1 | (株)ゆうちょ銀行 | 1 |
| JFEスチール(株) | 1 | 四国電力(株) | 1 | 日本IBM(株) | 1 | 四日市市役所 | 1 |
| (株)NTTドコモ | 1 | (株)商船三井 | 1 | 日本オラクル(株) | 1 | 楽天(株) | 1 |
| SGホールディングス(株) | 1 | 昭和電工(株) | 1 | 日本コントロールシステム(株) | 1 | レジデンス・ビルディングマネジメント(株) | 1 |
| アクセントチュア(株) | 1 | 住商情報システム(株) | 1 | 日本ホールディングス(株) | 1 | (株)ワークスアプリケーションズ | 1 |
| あらた監査法人 | 1 | 住友化学(株) | 1 | 日本たばこ産業(株) | 1 | 和歌山県庁 | 1 |
| 旭化成(株) | 1 | 住友信託銀行(株) | 1 | 日本生命保険(株) | 1 | 合計 | 160 |
| 味の素(株) | 1 | 住友生命保険(株) | 1 | 農林中央金庫 | 1 | 進学先 | 人数 |
| 出雲市役所 | 1 | (株)住友倉庫 | 1 | (株)野村総合研究所 | 1 | 大阪大学大学院経済学研究科 | 13 |
| 宇部興産(株) | 1 | (株)ソフトウェアサービス | 1 | (株)八十二銀行 | 1 | 東京大学大学院経済学研究科 | 2 |
| 愛媛県庁 | 1 | (株)タマホーム | 1 | 阪神電気鉄道(株) | 1 | 京都大学大学院経営管理教育部 | 1 |
| (株)オースピー | 1 | 第一生命保険(株) | 1 | ひまわり証券(株) | 1 | | |
| オリパス(株) | 1 | 大鵬薬品工業(株) | 1 | 東日本旅客鉄道(株) | 1 | | |
| | | | | 兵庫信用保証協会 | 1 | | |

(注)平成23年3月11日現在、大学で集計されたデータをもとに作成したものです。



の活動

今年度は、公開講義が準備不足もあり、実現への折衝がうまく進まず開けなかった点、多くの方々にご迷惑をかけてしまいました。

その分09年度に立ち上がった学生部会の活動が確たるものとなるよう支援することに全力投球した一年でした。以下、10年度の活動をご報告します。

10年度の活動

*講演会

今年度は7月、11月、3月の3回、無料講演会を開きました。この内11月は例年通り東京開催です。地元大阪だけでなく首都圏開催で、多くの卒業生に来ていただける講演会は、同窓会と共催とすることで、同窓生が交流できる場が提供できている点でも開く意義があり、今後も力を入れていきたいと思っています。

*学生部会への支援

「大阪大学経済学部同窓会学生部会（ECOCA）」が発足して2年目の今年、新入生への積極加入要請、

会費徴収など、活動基盤をどう整えていくかを学生諸君の考えを聞きながらサポートしてきました。多くの新入生・先生方が参加してくれた歓迎会に始まり、厳しさを増す就職を控えた3年生対象の就職活動支援プロジェクト、OBOG交流会、ゼミ紹介の懇談会、卒業祝賀会と準備万端、彼らが主導権を取って活動してくれており、この活動を通して彼らの成長ぶりを頼もしく見守っています。

*広報活動

OFCの活動のなかでも、普段の積極的な広報活動も大切です。ホームページを通して、講演会や大学の様子を知っていただくよう外に向け広く情報発信するよう心がけております。

また、一年間の活動を「OFCニューズレター」にまとめて発行し、ホームページへアクセスできない方々への情報提供に役立てております。

OFCの活動が皆様にとりより有意義なものとなるよう、一層の努力をする所存です。改めて、同窓会の皆様方のご支援をお願いします。

OFC事務局 城山巖夫（新14期）
OFCのURL：<http://www2.econ.osaka-u.ac.jp/ofc/>
e-mail：ofc@econ.osaka-u.ac.jp

NPO おおさか大学起業支援機構の活動紹介

当NPO法人は、元同窓会長の篠原祥哲（経済学部S33年卒業）が主宰し、同窓生の皆様に会員になっていただき、主として、大阪大学での研究成果を商品化し、起業したベンチャーを育てています。

逆風を跳ね返して、たくましく離陸しつつある会社もあり、設立時から支援してきた私たちの努力が、結実しつつあると喜んでいきます。

また、「一般社団法人子どもの発達科学研究所」や「堺シティオペラ一般社団法人」などの公益事業の運営も支援しています。

今年度は、大阪大学発ベンチャー1社と「一般社団法人日本ベトナム経済フォーラム」の設立を支援しま

した。

こうした支援活動に、大阪大学同窓生のネットワークを活かせるよう、「大阪大学経済人会」を7月と1月に開催しています。

ぜひ、私どもの活動にご参加ください。

おおさか大学起業支援機構
事務局 溝端 智子（新35期）
連絡先：TEL：06-6347-1531
E-mail：info@aiue-osaka.org



会計報告

平成21年度 決算報告

平成21年度決算

(一般会計)

同窓会の重要な収入源としましては、会員の皆様からの入会金、年会費収入及び会費納入免除となられた方々から納付頂いた協賛金であります。当年度も予算比、前期比ともに減収傾向に歯止めがかからず、厳しい財政状況が続いております。会員の皆様におかれましては、会費納入につきまして一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

支出面では、費目毎の増減はあるものの事業費及び管理費とも予算内となりました。それぞれの主な増減要因としましては、特に管理費では、業務委託費が事務局員の採用が当初の予定よりも時期がずれ込んだために費用の発生が少なかったことや、通信交通費では会長の期中交代に伴う通知費用の発生により超過となっております。

(特別会計)

昨年度に「60周年記念事業特別会計」を新設していますが、当年度は60周年記念募金の募集活動費等の費用に充当しております。

(貸借対照表)

お預かりした資産は、引き続き安全性の高い定期預金等で運用しております。当年度に同窓会の下部組織として準会員で構成された学生会が新設され、運営をスタートさせております。同窓会としても学生会の運営をサポートし、組織力の強化につなげていく必要があります。そのため、初期の学生会の活動費として同窓会から資金の貸付を実行しています。なお、貸付金は次年度において全額回収済みであります。

会計 白井 憲治郎 (新46期)

貸借対照表

| 資産 | | 負債及び正味財産 | |
|----------|------------|------------------|------------|
| 金額 | 金額 | 金額 | 金額 |
| 【資産の部】 | | 【負債の部】 | |
| 1. 現金 | 23,516 | 1. 前受金 | 50,000 |
| 2. 普通預金 | 4,615,789 | 負債合計 | 50,000 |
| 3. 定期預金 | 13,500,000 | | |
| 4. 短期貸付金 | 450,000 | 【正味財産の部】 | |
| | | 1. 一般会計収支差額 | 1,110,507 |
| | | 2. 特別会計収支差額 | |
| | | (1) 総会・名簿特別会計 | 1,750,000 |
| | | (2) 運営基金特別会計 | 14,000,000 |
| | | (3) 60周年記念事業特別会計 | 1,678,798 |
| | | 正味財産合計 | 18,539,305 |
| 資産合計 | 18,589,305 | 負債及び正味財産合計 | 18,589,305 |

(単位：円)

| 科 目 | 予 算 | 実 績 | 差 異 |
|----------------|------------|-----------|-----------|
| I 収入の部 | | | |
| 1. 会費・入会金収入 | 7,900,000 | 7,051,000 | 849,000 |
| (1) 入会金 | 550,000 | 315,000 | 235,000 |
| (2) 年会費 | 5,000,000 | 4,770,000 | 230,000 |
| (3) 協賛金 | 1,700,000 | 1,364,000 | 336,000 |
| (4) 特別会費 | 650,000 | 602,000 | 48,000 |
| 2. 利息収入 | 6,200 | 28,323 | △ 22,123 |
| 3. 雑収入 | 150,000 | 156,000 | △ 6,000 |
| 4. 特別会計戻入 | 1,500,000 | 1,500,000 | 0 |
| (1) 総会 | 1,500,000 | 1,500,000 | 0 |
| 当期収入合計 | 9,556,200 | 8,735,323 | 820,877 |
| II 支出の部 | | | |
| 1. 事業費 | 5,132,500 | 4,893,103 | 239,397 |
| (1) 会報発行費 | 610,000 | 541,656 | 68,344 |
| (2) 名簿作成費 | 10,000 | 5,840 | 4,160 |
| (3) 総会費 | 3,150,000 | 2,732,598 | 417,402 |
| (4) 助成費 | 340,000 | 316,000 | 24,000 |
| (5) HP運営費 | 410,000 | 681,375 | △ 271,375 |
| (6) イベント費 | 100,000 | 113,354 | △ 13,354 |
| (7) 活動拠点運営費 | 512,500 | 502,280 | 10,220 |
| 2. 管理費 | 4,326,000 | 3,871,712 | 454,288 |
| (1) 業務委託費 | 2,070,000 | 910,000 | 1,160,000 |
| (2) 会員管理・会費事務費 | 640,000 | 746,978 | △ 106,978 |
| (3) 事務局管理運営費 | 420,000 | 420,000 | 0 |
| (4) 会議費 | 550,000 | 594,140 | △ 44,140 |
| (5) 消耗品費 | 100,000 | 70,579 | 29,421 |
| (6) 通信交通費 | 376,000 | 957,844 | △ 581,844 |
| (7) 慶弔費 | 120,000 | 134,221 | △ 14,221 |
| (8) 雑費 | 50,000 | 37,950 | 12,050 |
| 3. 特別会計繰入 | 750,000 | 750,000 | 0 |
| (1) 総会 | 0 | 0 | 0 |
| (2) 名簿 | 750,000 | 750,000 | 0 |
| 4. 予備費 | 0 | 0 | 0 |
| 当期支出合計 | 10,208,500 | 9,514,815 | 693,685 |
| 当期収支差額 | △ 652,300 | △ 779,492 | 127,192 |
| 前期繰越収支差額 | 1,889,999 | 1,889,999 | 0 |
| 次期繰越収支差額 | 1,237,699 | 1,110,507 | 127,192 |

特別会計収支計算書 (平成21年度)

| (1) 総会・名簿特別会計 | | (単位：円) | |
|---------------|-----------|-----------|-----|
| 科 目 | 予 算 | 実 績 | 差 異 |
| I 収入の部 | | | |
| 1. 一般会計より繰入 | | | |
| (1) 総会 | 0 | 0 | 0 |
| (2) 名簿 | 750,000 | 750,000 | 0 |
| 当期収入合計 | 750,000 | 750,000 | 0 |
| II 支出の部 | | | |
| 1. 一般会計へ戻入 | | | |
| (1) 総会 | 1,500,000 | 1,500,000 | 0 |
| (2) 名簿 | 0 | 0 | 0 |
| 当期支出合計 | 1,500,000 | 1,500,000 | 0 |
| 当期収支差額 | △ 750,000 | △ 750,000 | 0 |
| 前期繰越収支差額 | 2,500,000 | 2,500,000 | 0 |
| 次期繰越収支差額 | 1,750,000 | 1,750,000 | 0 |

(2) 運営基金特別会計

| (2) 運営基金特別会計 | | (単位：円) | |
|--------------|------------|------------|-----|
| 科 目 | 予 算 | 実 績 | 差 異 |
| I 収入の部 | | | |
| 1. 一般会計より繰入 | 0 | 0 | 0 |
| 当期収入合計 | 0 | 0 | 0 |
| II 支出の部 | | | |
| 1. 一般会計へ戻入 | 0 | 0 | 0 |
| 当期支出合計 | 0 | 0 | 0 |
| 当期収支差額 | 0 | 0 | 0 |
| 前期繰越収支差額 | 14,000,000 | 14,000,000 | 0 |
| 次期繰越収支差額 | 14,000,000 | 14,000,000 | 0 |

(3) 60周年記念事業特別会計

| (3) 60周年記念事業特別会計 | | (単位：円) | |
|------------------|-----------|-----------|-----------|
| 科 目 | 予 算 | 実 績 | 差 異 |
| I 収入の部 | | | |
| 1. 譲受金収入 | 0 | 0 | 0 |
| 当期収入合計 | 0 | 0 | 0 |
| II 支出の部 | | | |
| 1. 60周年記念事業推進費 | 867,000 | 108,410 | 758,590 |
| 当期支出合計 | 867,000 | 108,410 | 758,590 |
| 当期収支差額 | △ 867,000 | △ 108,410 | △ 758,590 |
| 前期繰越収支差額 | 1,787,208 | 1,787,208 | 0 |
| 次期繰越収支差額 | 920,208 | 1,678,798 | △ 758,590 |

会員管理部会から

1. 同窓会名簿について

会員管理部会は、同窓会会員からの年会費の納入、会員証の発行、4年に一回の名簿の発行を担当しています。

本年度は、名簿の発行を予定しておりましたが、個人情報保護法等の社会情勢の変化もあり、名簿発行に伴う苦情等が同窓会事務局に寄せられていることから、代表幹事会の議決により、従来の紙ベースの会員名簿の発行を取りやめ、WEB化による情報提供を検討することになりました。

現在、ホームページの見直しも含めて、名簿の内容、費用、利用可能になる時期を事務局として検討しておりますので、それらが確定しました時点で、改めて会員の皆様にお知らせします。その間、会員の皆様にはご不便をおかけしますことをお詫び申し上げます。また、期会の名簿等の会員情報が必要な方は同窓会事務局まで直接ご連絡をいただければ、同窓会の個人情報保護規程等に基づき対応させていただきますので、よろしくようお願い申し上げます。

2. 会員管理部会からのお願い

年会費

- ・年会費は年5,000円です。
- ・この会報に同封している郵便局の払込取扱票により郵便局窓口で払い込んでください。

年会費免除及び協賛金

- ・会則により、卒業後40年を経過(正会員資格取得後40年経過)した方は年会費が免除されます。
- ・年会費が免除される方でお志のある方には、協賛金をお受けしています。
- ・協賛金は一口1,000円で、できれば3口以上をお願いしています。この会報に同封している郵便局の払込取扱票を使ってお払い込みいただきますようお願いいたします。

年会費の口座振替

- ・年会費については銀行等の口座から自動振替が利用できます。
- ・振替日は7月14日です。
- ・口座振替を希望される方は、事務局へご連絡ください。申込用紙を送らせていただきます。
- ・ただし、今年の年会費は郵便局の窓口でお支払いください。口座の振替は来年からとなります。
- ・便利で確実な口座振替を是非ご利用ください。

同窓会会員証(GCCOカード)

- ・年会費及び協賛金をお支払い頂いた会員の方には、毎年8月に同窓会会員証をお送りしています。この会員証をご持参頂きますと、同窓会が加入したハービスプラザ6階の会員制クラブ「ガーデンシティクラブ大阪」をメンバー扱いでご利用いただけます。

名簿情報確認のお願い

- ・現在、住所等不明者が多数に上っております。住所・電話番号や勤務先等の変更があった方は、必ず同窓会事務局にご連絡いただきますようお願いいたします。特に、代表幹事の方には、同期の方の確認作業等をよろしくようお願いいたします。
- ・同封している年会費の振込取扱票の下部に、同窓会で管理しているデータを印字しておりますので、ご確認の上、誤り・変更等があれば赤字で修正し、同封の連絡カードに貼付してご返送ください。
- ・同窓会事務局へのご連絡は、メールまたは電話(平日の13時～17時)・FAXでお願いいたします。

Eメール：machikane@econ.osaka-u.ac.jp

電話：(06) 6850-5275

FAX：(06) 6850-5276

会員管理部会長 三木 孝(新30期)



同窓会ホームページをリニューアルします

広報部会長補佐 高石 秀之 (新44期)

2011年(平成23年)4月より同窓会ホームページをリニューアルいたします。

<http://www.machikaneyama.jp>

(今回はgoogle・yahoo検索に対応しました。 **大阪大学 経済学部 同窓会** **検索** で検索ください。)

今回のリニューアルにおいては、「同窓会活動の活性化」「会員増強のきっかけ作り」のために「情報提供の充実」を主なテーマとして、誰にでも見やすいページ作りを心がけました。今までのホームページにおける「アクセスのしにくさ」を改善し、オープンな情報発信を心がけております。

今回のホームページの閲覧においてはID・パスワードを入力する必要はありません。すべての情報が自由にご覧いただけます。

なお、旧ホームページにて登録していただいた会員情報は新ホームページ上ではすべて削除いたします。



主な改善点は、

- ・トップページから原則2クリック以内で見たい情報にアクセスできます。
- ・トピックス・ニュース欄をリニューアルしました。
- ・「期会・同窓会便り」がトップページから見られます。
- ・「事務局便り」のページをリニューアルしました。
- ・今号から会報「待兼山」をwebページで閲覧(PDF形式)できます。

ご多忙な生活を送られている社会人の方はもちろん、OBの方々、学生会員の方にも有益な情報がきっと掲載されていると存じます。「ホームページが見やすい・使いやすい」→「見に行くと常に新しい情報がある」→「ホームページを見に行きたくなる」→「同窓会の今の活動状況が良くわかる」→「同窓会活動に参加したくなる」と良いサイクルを作り出し、本会報「待兼山」と並んで会員と同窓会とを結びつける窓口のひとつとなるようなページを心がけていきます。

このホームページは今回のリニューアルが完成形ではなく、これから情報を継続的に発信していくことで皆様のお役に立つホームページにしていきたいと思っております。

また、今後とも皆様のお声を取り入れさせていただき、より会員様にとって使いやすいページを目指してまいります。ご意見ご要望がございましたら遠慮なくお問い合わせをお願いいたします。





大阪大学経済学部同窓会学生部会会長 大川 淳士



「あなたの人生は、今までツイていましたか？」
松下幸之助は、面接の時に必ずこの質問をしたそうです。

超氷河期と言われる就職活動。そんな時に、私はこの言葉に出会いました。面接官に聞かれた時にハイと答えるのだろうか、そんなことをふと考えました。

人生、特に大学生活を振り返ってみると、本当にいろいろな人と出会いました。尊敬できる素晴らしい先輩、こんな私でも慕ってくれる後輩、そして、共にふざけ合ったり、お酒を飲んだり、時にはケンカしたりする同期の仲間。この出会いは私の中でかけがえのないものになりました。そして、いつも支えられてきました。しかし、私を支えてくれたのはその人達だけではありません。いつも仕送りを送っ

てくれている親、丁寧に教えてくださっている先生方、学生部会の活動では大変お世話になっている卒業された諸先輩方。この3年間、本当に様々な人に支えられてきました。こんな私がツイていないわけがありません。

さて、私もついに大学最後の年になりました。支えられっぱなしの人生。この恩に報いるためにも、今度は私が人を支える立場にならなければなりません。幸いにも、私には学生部会という場があります。この場を通して少しでも実現できたならと考えています。そして、卒業する時に「あなたの人生は、今までツイていましたか？」と聞かれたら、胸をはって「ハイ！」と答えられるように充実した1年を過ごしていきたいと思います。



大阪大学経済学部同窓会青年会会長 池内 祥見



同窓会の皆様、はじめまして。平成20年修士卒の池内祥見と申します。社会に出て4年になります。仕事のペースには慣れてきましたが、まだまだ学ばず事ばかりの日々を過ごしています。

2010年の末に同窓会の中に青年会が正式に設立されました。この度、青年会の初代会長を務めさせていただくことになりました。青年会の活動は、なかなか活性化していない若手社会人の同窓会への参画を図り、同窓会全体の活動の活性化を図ることにあります。

数年前より学生部会が設立され、学生の間では、同窓会に関連した様々な活動が行われていますが、彼らが社会に出て活躍を始めた後に、同窓会としての活動が活性化していない現状がありました。そこで青年会を通じて、若手社会人の同窓会活動を盛り上げていこうと思っています。

若手と言ってもメンバーを20代に限定せず、30代やより上の年代の方にも関わっていただき、「同窓会のネットワークを使って何か面白いことをしたい」と考えています。興味のある方は是非ご一報ください。

私は趣味でサイクリングをします。去年は地元のカフェの自転車チーム10名ほどで琵琶湖一周に、また今年2月にはサイクルトレインという企画に参加し100名ほどで伊勢志摩へサイクリングに行ってきました。

それぞれ会社も年代も異なるメンバーが自転車という共通項のもとに集まり共に楽しみました。同窓会の活動も「同じ出身」という共通項のもとに交流が発展していけばと思います。

今回は、経済学部経済学科86年卒業(新34期)の

榎山愛湖さんにお話を伺いました。



ー現在どのようなお仕事をなさっているのでしょうか

大阪商工会議所・経済産業部ライフサイエンス振興担当課で国内外の関連企業のサポートや産業振興のしくみづくりに関わる業務に携わっています。ライフサイエンス振興といっても多岐にわたります。当課では大阪におけるライフサイエンス産業振興戦略策定から、産学連携、企業間連携等を創薬、医療機器、食品等、幅広い分野で行ってきております。最近では、自動車、電機などモノづくり企業の医療機器ビジネス参入や、医療とサービス業のマッチングによる新しいビジネス立ち上げなども重要な分野となっております。

大阪は、大阪大学や国立循環器病研究センターなどアカデミアや、道修町を始めとする製薬企業の集積など、国際的にみても高いポテンシャルのある地域で、最先端の研究や関連ビジネスが活発といっても過言ではありません。大阪商工会議所でもライフサイエンスを地域振興のエンジン産業と位置づけ、力を入れています。

とはいえ、単に大学と研究者を会わせればよいわけではなく、医療機器、創薬分野のシーズを企業が取り組みやすいように、いわば翻訳し、企業にとって魅力ある情報に換えて提供しなければなりません。経験や知識の蓄積が重要になる仕事ですので、私も2000年ごろから約10年近くこの部署におります。

今年2月には医療機器分野の商談やカンファレンスで構成された「ワールドフォーラム」を開催しました。他にも、国内の商談会、創薬分野では疾患別、地域別の商談会もあり、そのような事業だけでも1年間で合計22、23回行っていることとなります。国におけるライフサイエンス政策検討会議でも、ワーキンググループ委員としてお手伝いしています。

したがって、年中とても忙しいのですが、この世界の非常に影響力のあるカリスマ的な方々にお会いできること、毎年取り組まれる企業が増え続けていることなどにより、エンカレッジされることが多いです。国もライフイノベーションは戦略分野としていますが、確かにこの分野では、日本企業の積極的な姿勢が感じられ、多くの場面で刺激を受けます。

現在、東京が様々な産業の中心になりがちです。しかし、ライフサイエンス分野における大阪の吸引力は強く、お付き合いしている大学は、北海道から沖縄まで全国に広がっています。事業に参画頂く企業も、半分近くが東京など、関西以外の企業です。

活動は海外にも広がっており、特に医療機器では世界の最先端を走るミネソタ地域との共同開発プロジェクトを一昨年立ち上げました。これらがうまくいけば、より一層大阪のプレゼンスが高まるのではないかと期待しています。

ーでは、日々の生活の中で関心を持っていることはありますか

フランス語には興味があります。仕事やプライベートで海外に行くことも多く、これまでに十数カ国を訪問しました。現在、パストール研究所(フランス)と一緒に仕事をしています。英語は通じますが、せっかくなのでフランス語が、少し話せたらいいなど。

ー大阪大学経済学部での思い出をお聞かせください

私は男女雇用機会均等法施行の1年前に就職活動を行いました。合計で65社ぐらいの企業を訪問したと記憶しています。現在、様々な企業や大学の方々の顔の見えるお付き合いが重要で、こちらから積極的に相手にアプローチしていくことも必要になってきます。就職活動のおかげか、そのようなことも、抵抗なく行えているように思います。

また、ゼミ(中谷巖ゼミ)が、トピカリティのあることにフォーカスしたり、自由に柔軟な発想を許してくれたことも印象に残っています。今の仕事 新しい事業を立ち上げるというような案件が多く、新しい動きに関心をもって、自由に発想することを必要としますので、ゼミでの経験が役に立っているかなと思うことがあります。学生の皆さんも、自由にいきいきとした学生生活をすごされることを願っています。

ーお忙しい中、ありがとうございました。

経済学部の近況

■キャンパス風景

ここ数年に亘った本館の耐震補強工事、周辺通路の整備も終わり、経済学部周辺もすっきりきれいになりました。【写真1】は法経講義棟と本館の間通路から北側（共通教育棟側）を臨んだ様子です。

昨年度事務室など一時的に引っ越していた状況も元通りに収まりました。ご近所、南隣り



【写真1】



【写真2】

の保健センターの改修も無事終了したようで（本館経済学部玄関前から南方向を望む—【写真2】）経済学部の周辺は数年ぶりに落ち着いた雰囲気を取り戻しています。

■学生会の活動

この1年の主な活動は下記のとおりです。

◎イベント

・新入生歓迎会（4月）

参加者 新入生159名 教員15名 運営スタッフ13名。

・就職支援プロジェクト（6月から12月）

・内定者懇談会（7月）

・業界探求セミナー（10～12月）8日間

参加者 のべ2,295名 参加企業35社。

経済学部学生のほか他の学部、院生も参加し、好評でした（【写真3】）。業界研究冊子制作と無料配布。その他模擬面接講座、自己分析講座、E S（エントリーシート）講座、グループディスカッションなども、企業の支援のもと実施されました。



【写真3】

・公認会計士（先輩）との交流会（7月）

参加者 公認会計士5名 学生3名 運営スタッフ3名。

公認会計士を目指そうとしている学生の疑問、不安に答えてもらうために交流会を開催しました。



【写真4】

・OB・OG交流会（10月）

参加者 学生49名 OBOG16名。

OBOG若手層との交流会として、学生時代のこと、仕事（業界）のことなど意見交換が行われました（【写真4】）。

・ゼミ紹介懇談会（1月）

19ゼミが参加しました。新規開講ゼミは先生の参加もありました。

・卒業祝賀会（3月・予定）

卒業生130名、教員20名程度の参加を予定。場所はヒルトン大阪ホテル。

・大学祭模擬店出展（4、5月、11月）

いちよう祭・待兼祭で模擬店を運営

【写真5】。



【写真5】

◎組織固め

・年会費の徴収開始（会費納入者 230名）

・会員カード発行

・学生会紹介冊子発行

・メーリングでの情報提供体制構築

■学生状況

平成22年度の、経済学部の新入生の状況についてお知らせします。

| | |
|--------|-------------------------|
| 総数 | 237名 |
| 男女数 | 男 178名 女 59名 |
| 留学生数 | 8名（男1名 女7名） |
| 留学生の国籍 | 韓国3名 中国1名 ベトナム1名 モンゴル3名 |

昨年もお知らせいたしました通り、一昔前に比べて近年は女子学生の割合が増加（上記の通り約1/4）しており、講義・キャンパス風景、学生気質といったものも変わりつつあるように思います。

■ホームカミングデー

第5回ホームカミングデーは平成22年5月1日土曜日13時30分から16時、豊中キャンパス、実践センター教育研究



【写真6】

棟（自然科学棟）の1階「開放型セミナー室」にて開催されました【写真6】。

参加者は第4期から第42期までと平成18年卒の修士を含む合計約30名でした。

例年とは異なる開催場所でしたが、いちよう祭のイベント舞台を間近に見ながら、賑やかかつ和やかな会合でした。参加者名はホームページ同窓会かわら版（会員専用ページ内）に掲載されております。

平成23年につきましては、今回の東日本大震災との関連で全学のホームカミングデーが秋に延期される方向で検討されており、経済学部につきましてもそれに合わせて開催したいと考えております。

今後、日程等が決定次第、ホームページなどでお知らせしますので、その節は多数のご参加をお待ちしています。

■最終講義・御退職

平成23年3月31日をもって、山田

雅俊教授、齊藤慎教授、浅田孝幸教授が、

ご退職されます。最終講義は山田教授、

齊藤教授はご本人の希望により行われま

せんでした。浅田教授の最終講義は1月31日（月）第3限、

文系総合研究棟4階402号室にて行われました【写真7】。題

目は「戦略管理会計研究の現状と将来」でした。



【写真7】

■教員異動

ここ1年間（平成22年4月1日～平成23年3月31日）において、経済学部（経済学研究科）で次のような異動がありました。以下日付順で内容ご報告いたします。

平成22年4月1日 ～平成23年3月31日の教員異動。

平成22年4月1日 福田祐一先生 准教授から教授に昇任。

平成22年4月1日 爲近英恵先生 助教採用。

平成22年10月1日 鳩澤 歩先生 准教授から教授に昇任。

平成22年10月1日 石黒真吾先生 准教授から教授に昇任。

平成23年3月31日 退職予定 山田雅俊教授、齊藤慎教授、

浅田孝幸教授。

（同窓会大学連携部会）



同窓会活動について

この会報の編集中に東北地方に未曾有の大災害が発生し、甚大な損害が生じています。災害に遭われた皆様には心からお見舞いを申し上げます。この国難に対し、被災者への支援と災害の復興への一助とするため、同窓会では学生部会からの発案により義援金募集活動を開始しました。同封の「義援金のお願い」をご覧ください、皆様のご協力をお願い申し上げます。

同窓会では、経済学部創設60周年記念事業の一環として準会員である学生による“学生部会”を設置しました。新入生歓迎会や就職セミナー、卒業祝賀会などを企画運営しつつ、親睦交流を図ることによって社会に巣立つための基盤を自らの力で築く場となっています。今後、OB諸氏にお願いしてエグゼクティブセミナーなども実施していきたいと考えています。

また、OBの世代が広がり、若年層の活動が低調な状況に対応するための施策として、“青年会”活動を開始することとしました。11ページの記事にありますように、学

生部会と連携して学生時代の交流を卒業後も継続発展できる仕組みとしたいと考えています。

このような試みにより、新しい世代が同窓会活動にスムーズに参加し、世代間をつなげるような仕組みが出来上がれば、60周年記念募金でいただいた皆様のご寄附を経済学部と同窓会の相互の発展のために生かすことができると思います。今後ともOB諸兄姉の皆様の学生部会、青年会に対するご支援をよろしくお願い申し上げます。

本年は4年毎の同窓会名簿の発刊の年にあたっていますが、9ページの会員管理部会からの報告にありますように、個人情報保護法への対応のため、紙媒体の名簿発行は今回から取りやめることとし、ホームページ上で個人情報の閲覧ができる仕組みを検討することとなりました。新しい仕組みの導入に向けて鋭意検討を進めてまいりますので、ご理解賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。なお、従来の同窓会ホームページは情報発信機能が弱かったため、新しく広報部会に参加された高石部会長補佐を中心としてリニューアルしましたので、ご活用いただければ幸いです。



第6回ホームカミングデイのお知らせ

14ページの経済学部の近況に掲載されていますように、毎年5月の連休期間中に経済学部ホームカミングデイを開催しています。

本年は、東北地方太平洋沖地震のため、全学のホームカミングデイの開催が秋に延期されますので、経済学部のホームカミングデイもそれに合わせて開催することとし、全学の開催日程が判明しだい詳細を決定の上ホームページに掲載したいと思います。

大阪大学は創立80周年を迎えます！

大阪大学は、2011年（平成23年）に創立80周年を迎えます。大学では、この創立80周年を機に、「原点へ・未来へ」を事業タイトルに、様々なシンポジウムや公開講座などを、1年を通して開催していく予定です。卒業以来、母校より足が遠のいていた皆さまも、これを機にキャンパスに足を運ばれてはいかがでしょうか。詳しくは、大阪大学のHPをご参照ください。 <http://www.osaka-u.ac.jp/ja>

なお、今回「大阪大学未来基金」の案内を同封しておりますが、大阪大学では、阪大生の教育研究環境の充実を目的とした募金活動を展開しております。また今回は基金に関するアンケートを同封しています。詳しくは、大阪大学未来基金のパンフレットをご参照ください。是非とも卒業生の皆さまのご協力をお願いいたします。

第19回 同窓会総会のご案内

- 日 時** 平成23年7月2日(土) 13:30 受付開始
- 場 所** リーガロイヤルホテル (大阪市北区中ノ島)
- 内 容** 第1部 総会 (14:00～15:00)
第2部 記念講演 (15:15～16:15)
講演者 古川 実 日立造船株式会社取締役会長兼社長 (新14期)
演 題 「^お陸に上がった日立造船～脱造船経営の推進～」
第3部 懇親パーティ (16:30～18:00)

懇親会費 事前振込 5,000円 (当日持参の場合 6,000円)

参加申込 総会にご参加希望の方は、6月3日迄に同封の払込取扱票に記載された「総会懇親会費」欄にレ印を記し、郵便局窓口で5,000円をお振込願います。(なお、事前振込いただいた方で、6月24日迄に欠席のご連絡がなく当日キャンセルされた場合は、懇親会費の払戻しをいたしませんのでご了承下さい。)

問い合わせ先 大阪大学経済学部同窓会事務局
TEL 06-6850-5275 FAX 06-6850-5276
E-Mail machikane@econ.osaka-u.ac.jp

2年に一度の同窓生の集りです。お誘い合わせのうえ奮ってご参加下さい!!



大阪大学経済学部同窓会 新ホームページアドレス <http://www.machikaneyama.jp>

懇親ゴルフコンペのご案内

恒例の同窓会懇親ゴルフコンペを下記の要領で開催いたします。
総会へのご参加に併せてご参集いただき、ゴルフを通じた交歓の機会としたいと思っておりますので、お誘い合わせの上、奮ってご参加いただきますよう、ご案内申し上げます。

- 日 時** 平成23年7月3日(日)
- 場 所** タイガースゴルフ倶楽部
〒673-1324 兵庫県加東市新定275-144 TEL 0795-46-0111
- 参加費 22,000円** (昼食代、プレー代、プレー後の会食費、消費税等込)

賞品代は同窓会から助成いたします。
参加費は事前振込制とします。振込口座等は事務局へご連絡いただいた会員に対して別途ご連絡いたします。

連絡先 大阪大学経済学部同窓会事務局
TEL 06-6850-5275 (平日午後1時から5時までの間のみ)
FAX 06-6850-5276
E-Mail machikane@econ.osaka-u.ac.jp